

=保存版=

「防災あんしんマップ」

を全戸配布します。

災害時に役立つ知識や事前の対策、避難所や浸水想定区域を掲載した「防災あんしんマップ」(初版平成14年3月作製)を全面改訂しました。災害時の行動や日ごろの備えなどの防災情報を更新するとともに地図情報も一新しました。この「防災あんしんマップ」は、「保存版」として家族の防災意識を高めていただくことを念頭に作製しました。ご家庭で目のつく場所に保管し、いざという時の備えにしてください。

10年ぶりに全面改訂した「防災あんしんマップ」を市内の全戸に3月1日から配布いたします。地区ごとに順次配布していきますが、3月中に届かない場合は、ご連絡ください。
【詳細】 総務課(危機対策・防災担当)
☎ 381-1407

揺れやすさマップの掲載

「江別市耐震改修促進計画(平成22年策定)」で示された「江別市揺れやすさマップ」を新たに追加しました。揺れやすさマップは江別市で最大の揺れが予想される全国どこでも起こりうる直下の地震(マグニチュード6.9)を想定し、地域ごとの地盤情報などをもとに震度分布を表したものです。

主な改良点



サイズの変更

旧マップの地図情報がA2(新聞紙約1ページ)だったものをA1(A2の倍)にサイズアップしました。また、12の地区に分けていたものを、「江別」「野幌」「大麻」の3地区にすることも、縮尺を1万分の1に統一しました。

防災情報は大きく4項目

「家族で備える」では、普段から家族会議で決めておくことや非常持出品について、「地域で備える」では、地域の防災活動と災害時要援護者への支援について掲載し、「自助」と「共助」の大切さを説明しています。また、「地震に備える」では、家具の転倒防止や地震発生時の行動について、「風水害に備える」では台風・集中豪雨への対策と洪水時の避難先を掲載して、江別市で主に想定される災害への対策について説明しています。

イラストの活用

イラストを多く使い、見やすさと分かりやすさを工夫しました。特に地震発生時の行動は、地震発生から三日目までを時間経過で示すことで、具体的にわかりやすいものとなりました。また、昨年3月の東日本大震災でもその有効性が確認された「災害用伝言ダイヤル171」と「ウエア171」「携帯災害用伝言板」についても使い方を詳しく掲載しています。

市民向け防災セミナー 「あれから1年～今私たちにできること」

3月11日で東日本大震災から1年がたちます。甚大な被害をもたらした震災の教訓を忘れないために、防災教育の第一人者である北海道教育大学札幌校の佐々木貴子准教授を講師にお招きして防災セミナーを開催します。

被災地で何が起きたか?今私たちにできることは何か?震災を振り返りながら防災・減災について考えましょう。

日時: 3月11日(日) 13時00分～15時00分(予定)

会場: 江別市民会館37号室(高砂町6)

申込・詳細: ①住所②氏名③電話番号を3月7日(水)までに総務部総務課(危機対策・防災担当)へ。

☎ 381-1407(直通) FAX 381-1070 Eメール kikitaisaku@city.ebetsu.lg.jp

